


(単位:千円)

事業名	地方バス路線運行維持対策事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略		30,821		1,648			29,173	
目 的 目 標	交通弱者を中心とした地域住民の移動手段を確保するため、鉄道とバスによる適切な公共交通の運行維持を図る。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				28,140	府	市町村運行確保生活路線維持費補助金	1,648			
事業概要	<p>幹線路線 市町村を越える等の幹線路線の運行を、国府とともに支援。 伊根線ほか9路線 22,115千円 (利用者 H21: 365,396人、H22: 405,740人、H23: 406,203人)</p> <p>枝線路線 集落等と幹線を結ぶ枝線路線の運行を支援。 上宮津線 5,890千円 ・H23.2から上宮津地区から宮津市街地まで延伸。 ・1乗車あたり均一200円運賃。 (利用者 H21: 513人、H22: 403人、H23: 2,171人)</p>  <p>世屋畑線 2,816千円 ・H21.1から公共交通空白地であった畑地区へ乗り入れ及びデマンド方式として運行。 ・1乗車あたり均一200円運賃。 (利用者 H21: 292人、H22: 351人、H23: 469人)</p>		背 景 ・ 経 緯	<p>近年、沿線人口の減少や自家用車の普及等からバス利用者は低調であるが、高齢化に伴い、公共交通の必要性は高まっている。こうした下で、これまで公共交通空白地の解消や各路線の利便性の向上等に取り組んできた。また、幹線の低料金化に向けて、関係市町等と協議を進めている。</p>						
			期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学、買い物・通院等における移動手段の利便性の向上。 ・利用者拡大による健全な地域公共交通の維持。 						
			【みやづビジョン2011以外の計画】							
				年度策定		計	年度まで	年度まで	年度まで	
				年度策定		画	年度まで	年度まで	年度まで	
			年度策定		期	年度まで	年度まで	年度まで		
			【市民参加の状況】 事業者や利用者代表からなる地域公共交通会議において、ダイヤ・運賃・路線等について協議。							
			【先進性】							
			担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601			